



SDL Language Cloud

セキュリティ





目次

SDL Language Cloud のセキュリティ	3
SDL Language Cloud のセキュリティ	3
はじめに	3
ISO 27001 とセキュリティ・バイ・デザイン	3
アプリケーションのセキュリティテスト	3
監査証跡	4
安全なプロジェクト	4
ユーザーアカウントのセキュリティ	5
SDL ID	5
ユーザーデータ	5
多要素認証	5
セキュリティ情報イベント管理システム	5
ユーザーの権限	6
独自のロール	6
ホスティング環境のセキュリティ機能	7
保存データの暗号化	7
セキュリティ基準の評価	7
補足資料	8



SDL Language Cloud のセキュリティ

はじめに

顧客情報のセキュリティは SDL にとって最重要事項であり、SDL は情報の安全性確保を何よりも優先します。当社の人材、ポリシー、手順に支えられる最先端のテクノロジーを使用して、御社のビジネスとデータを確実に保護します。

このホワイトペーパーでは、コンテンツを安心して処理および管理できる環境を実現するために、**SDL Language Cloud** の開発やホストをどのように行っているのかを詳しくご説明します。この内容は、SDL Language Cloud を活用した SDL Trados Live などの製品も対象となります。

ISO 27001 とセキュリティ・バイ・デザイン

SDL Language Cloud の開発組織は ISO 27001 認定を取得しています。つまり、使用している設備、チーム、ポリシー、手順が、独立した外部査定人による定期的な監査を受けています。新しい製品機能を開発するときは、安全第一で取り組みます。開発プロセスでは広範なテストを実施し、翻訳対象コンテンツに関連するデータでも、アプリケーションユーザーに関連するデータでも、SDL Language Cloud がデータを安全に処理できる環境であり続けられるようにしています。



アプリケーションのセキュリティテスト

SDL Language Cloud はどのリリースも、厳格な脆弱性診断とペネトレーションテストを受けています。どちらにも、ウェブアプリケーションセキュリティリスクの OWASP Top 10 に対するテストが必ず含まれています。問題があっても、更新ファイルが本番環境に展開される前に解決されます。





監査証跡

SDL Language Cloud では、アプリケーションで処理されたすべてのファイルについて完全な監査証跡が保持されます。予期しないセキュリティインシデントが発生した場合、管理者はワークフローの進行中に記録されたファイルの履歴を照会し、そのファイルで実行されたワークフロータスクとそのファイルにアクセスしたユーザーを特定できます。

TASK DESCRIPTION	TASK TYPE	ASSIGNEES	OWNER	LANGUAGES	STATUS	CREATED	COMPLETED
samplephotoprinter.docx	Export	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:08	15 May 2020 10:08
samplephotoprinter.docx	Export	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:07	15 May 2020 10:07
samplephotoprinter.docx	Export	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:07	15 May 2020 10:07
samplephotoprinter.docx	Export	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:06	15 May 2020 10:06
samplephotoprinter.docx	Translation	PM	PM	🇺🇸 → 🇩🇪	INPROGRESS	15 May 2020 10:04	
studio sample wf	Project Plann...	PM	PM	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:04	15 May 2020 10:04
studio sample wf	Customer Qu...	PM	PM	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:04	15 May 2020 10:04
studio sample wf	Customer Qu...	PM	PM	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03
studio sample wf	Customer Qu...	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03
studio sample wf	Analysis	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03
studio sample wf	Project Conte...	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03
samplephotoprinter.docx	Machine Tran...	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03
samplephotoprinter.docx	Translation M...	⚙️	⚙️	🇺🇸 → 🇩🇪	COMPLETED	15 May 2020 10:03	15 May 2020 10:03

安全なプロジェクト

SDL Language Cloud では、新しいプロジェクトを作成するときに「安全なプロジェクト」として分類できます。このオプションを有効にすると、SDL Trados Studio での翻訳用にダウンロードされるファイルが送信時と保存中に暗号化されます。翻訳者とレビューアーは、SDL Trados Studio の新機能を使用してこのようなプロジェクトを開き、規定のコンテンツの処理方法に従って作業できます。詳細については、2020 年下半期に新機能をリリースする際にご紹介します。



ユーザーアカウントのセキュリティ

SDL Language Cloud は、ユーザーアカウントのセキュリティを強化する機能を備えています。

SDL ID

SDL ID は SDL のシングルサインオン (SSO) ソリューションです。Auth0 が提供するサードパーティ製 ID プラットフォームがベースになっており、次のレベルのコンプライアンスを確保しています。

- ISO 27001
- ISO 27018
- EU-US Privacy Shield フレームワーク
- PCI DSS 認定
- SOC 2 Type II
- HIPAA BAA
- CSA STAR 「ゴールド」
- GDPR

Auth0 のセキュリティについて詳しくは、auth0.com/security をご覧ください。

ユーザーデータ

SDL Language Cloud には個人を特定可能な情報 (PII) と思われるユーザーデータが保存されますが、これらの情報を他のシステムで使用することはできません。SDL Language Cloud でユーザーを定義すると、それ以降は固有のユーザー ID 番号のみで判別されます。GDPR の規則に従い、ユーザーに関連付けられた PII は、リクエストに基づいて編集、エクスポート、削除が可能です。



多要素認証

すべてのユーザーアカウントに対し、任意で多要素認証 (MFA) を有効にできます。MFA は認証方式の 1 つで、ユーザーは認証メカニズムに対して次のような複数の証拠 (要素) を提示できなければアクセス権を得られません。

- 知識要素 (そのユーザーが知っていること。パスワードなど)
- 所有要素 (そのユーザーが持っているもの。モバイルデバイスなど)
- 生体要素 (そのユーザーを示すもの。指紋など)

セキュリティ情報イベント管理システム

ユーザーアカウントに関連するアクションはすべて記録され、詳細に分析するためにセキュリティ情報イベント管理システム (SIEMS) に送信されることがあります。管理者は、このようなシステムを利用して、総当たり攻撃や自動パスワード生成機能などによるセキュリティ違反の可能性を検知できます。SDL では、この分析に Alert Logic を使用していますが、必要に応じて他の SIEMS もサポートできます。ユーザーアカウントに関連するアクションには、次のようなものがあります。

- ログインの成功
- ログインの失敗
- ログアウト
- パスワードのリセットリクエスト
- パスワードの変更リクエスト





ユーザーの権限

SDL Language Cloud で、各ユーザーは1つ以上のユーザーグループに属します。各グループには特定の権限セットが設定されており（ロール）、これによって、グループのメンバーがどの組織構造レベルで、どの処理を実行できるのかが決まります。複数のグループに属するユーザーの権限は、各グループの権限をすべてまとめたスーパーセットを作成することで決定されます。

The screenshot shows a user profile for John Smith. The profile is divided into two main sections: personal information and group/domain assignments. The personal information section includes fields for First name (John), Last name (Smith), Email (redacted), and Location (/Root). The group and domain section shows that the user is assigned to five groups: Terminologists, Project Managers, Linguists, Engineers, and Administrators. Additionally, the user is assigned to the Internet & Telecom domain.

すべてのユーザーとグループを管理するのはアカウント管理者です。管理サービスをご利用のお客様については、SDL の担当者がその役目を果たし、ユーザーやグループを設定しますが、設定後、SDL の担当者が御社のデータにアクセスすることはできません。自社アカウントを社内で管理することをお望みの場合は、SDL による操作の必要なくいつでも管理していただけます。

独自のロール

SDL Language Cloud では、既定のロールのほかに、独自のロールを作成してグループに割り当てることができます。独自のロールに複数の権限を付与することで、グループのメンバーが実行できる処理を柔軟に決めることができます。独自のロールについては、この機能のリリース時に詳しくご紹介します。



ホスティング環境の セキュリティ機能

SDL Language Cloud は、SDL Cloud Operations が SaaS アプリケーションとしてホストしています。SDL のホスト型製品はすべて ISO 27001 認定を取得しており、SDL Cloud Operations は SOC 2 Type 2 認証の統制と方針に 100% 準拠しています。SDL は、2020 年に ISO 27017 を取得することで、クラウドサービスのセキュリティに関する専門性を高め、ニーズに合うセキュリティを追求していきます。

SDL は、大手サードパーティサービスプロバイダの Amazon Web Services、NTT Communications、Alibaba Cloud と SDL 製品のホスティング契約を結んでいます。いずれのプロバイダも、ISO 27001、SSAE 16、SOC 1、SOC 2、SOC 3 を始めとした複数のセキュリティ認定を取得しています。ホスティングパートナーが採用しているセキュリティ対策に加え、SDL では次に関するポリシーや手順も定めています。

- アクセス制御
- 物理的な保護
- 論理的な保護
- データバックアップ
- データセキュリティ
- 可用性と積極的な監視
- リスク評価

SDL Cloud Operations は、さまざまなセキュリティツールや機能も利用して、お客様のデータのセキュリティを確保しています。このポートフォリオには、以下のものが含まれます。

- 異常検出機能を備えたイベント管理監視ツール
- 境界ファイアウォール、ウイルス対策機能付きの統合型 Network Threat Protection (NTP)
- リアルタイムのイベント管理アクティビティをサポートする 24 時間年中無休の運用体制
- 脅威を可視化する業界推奨ツール
- 最先端の脆弱性&ペネトレーションセキュリティテストスキャナー
- IT Infrastructure Library (ITIL) に準拠したインシデント管理用チケットツール

保存データの暗号化

2020 年後半には、SDL Language Cloud に保存されているすべてのファイルとデータをファイリングシステム上で暗号化する予定です。この暗号化により、物理的なハードウェアが盗まれた場合にデータにアクセスされてしまう危険性が軽減されます。

セキュリティ基準の評価

SDL は、SDL Language Cloud のセキュリティ強化に継続的に取り組んでいきます。現在取得しているセキュリティ認定だけでなく、お客様の要件や対象となる規制環境に対しても注意を怠りません。以下を含む多数のセキュリティ基準について、コンプライアンスと認定のメリットを継続的に評価しています。

- NIST
- HIPAA
- HITRUST CSF





補足資料

セキュリティに対する SDL のアプローチについて詳しくは、セキュリティ特集ページをご覧ください。

sdl.com/jp/about/security

SDL のプライバシーポリシーについては、プライバシー特集ページをご覧ください。

sdl.com/jp/about/privacy

GDPR と SDL 翻訳ソフトウェアの使用について詳細情報をお求めの場合は、

[こちら](#)から eBook をダウンロードしてください。

SDL*

SDL (LSE:SDL) は、インテリジェントな言語・コンテンツソリューションをリードする企業です。当社は、国際理解の実現を目的に、組織が言語やチャネル、タッチポイントに左右されず、世界中のオーディエンスと交流できるようサポートします。企業のお客様は4,500社を越え、その中には世界のトップブランド90社のほか、当社が事業を展開している各業界の大企業の大半が含まれます。SDLは、当社独自の翻訳サービス、翻訳テクノロジー、コンテンツテクノロジーを組み合わせて、数量、スピード、品質、分断、コンプライアンス、理解といったコンテンツの課題を克服できるよう、お客様をサポートします。

トップグローバル企業がSDLを利用し、信頼を寄せています。詳しくは、sdl.com/jp/をご覧ください。Twitter、LinkedIn、Facebookでも情報発信しています。

SDLジャパン株式会社
〒153-0051
東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒GTタワー4F
marketing.japan@sdl.com

Copyright © 2020 SDL plc. All Rights Reserved. SDLの名称とロゴ、およびSDL製品名とサービス名は、SDL plcおよび/またはその子会社の商標であり、その一部は登録商標である可能性があります。その他の会社名、製品名、サービス名は、各所有者に帰属します。